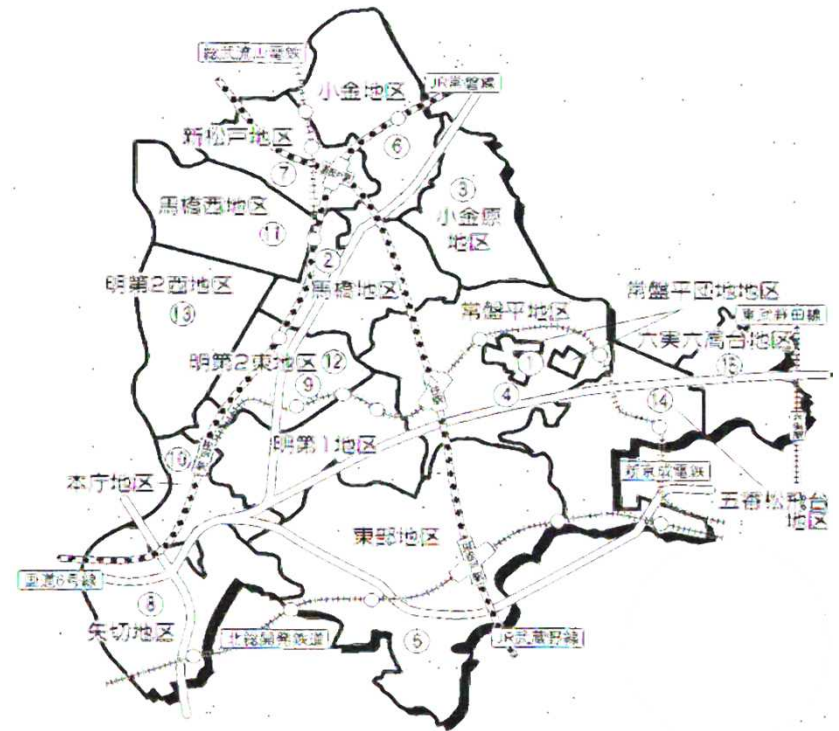


松戸市における高齢者虐待 防止ネットワークについて

松戸市福祉長寿部高齢者支援課

松戸市の概要



松戸市の人口

	平成28年1月1日	平成16年4月1日
総人口	485, 945人	467, 650人
65歳以上人口	118, 072人	73, 339人
高齢化率	24. 3%	15. 7%

被虐待者数の推移と問題・課題

* 被虐待者の推移(人)

年度	H12	H13	H14
男性	1	4	13
女性	6	16	52
不明	0	0	2
合計	7	20	67

高齢者虐待の問題

- * 相談件数の増加
- * 生命を脅かす状況
- * 社会的認知の低さ(潜在化)
- * アセスメント方法と支援方法が未確立

関係団体のネットワーク構築が必要！

課題に対する解決方法

- ・虐待件数の増加、介入してみると生命に関わる状況。
- ・高齢者に関わっている機関、市民の虐待に対する認識知識にばらつきがある。

解決方法

高齢者虐待について市民およびケアマネなど専門職への啓発

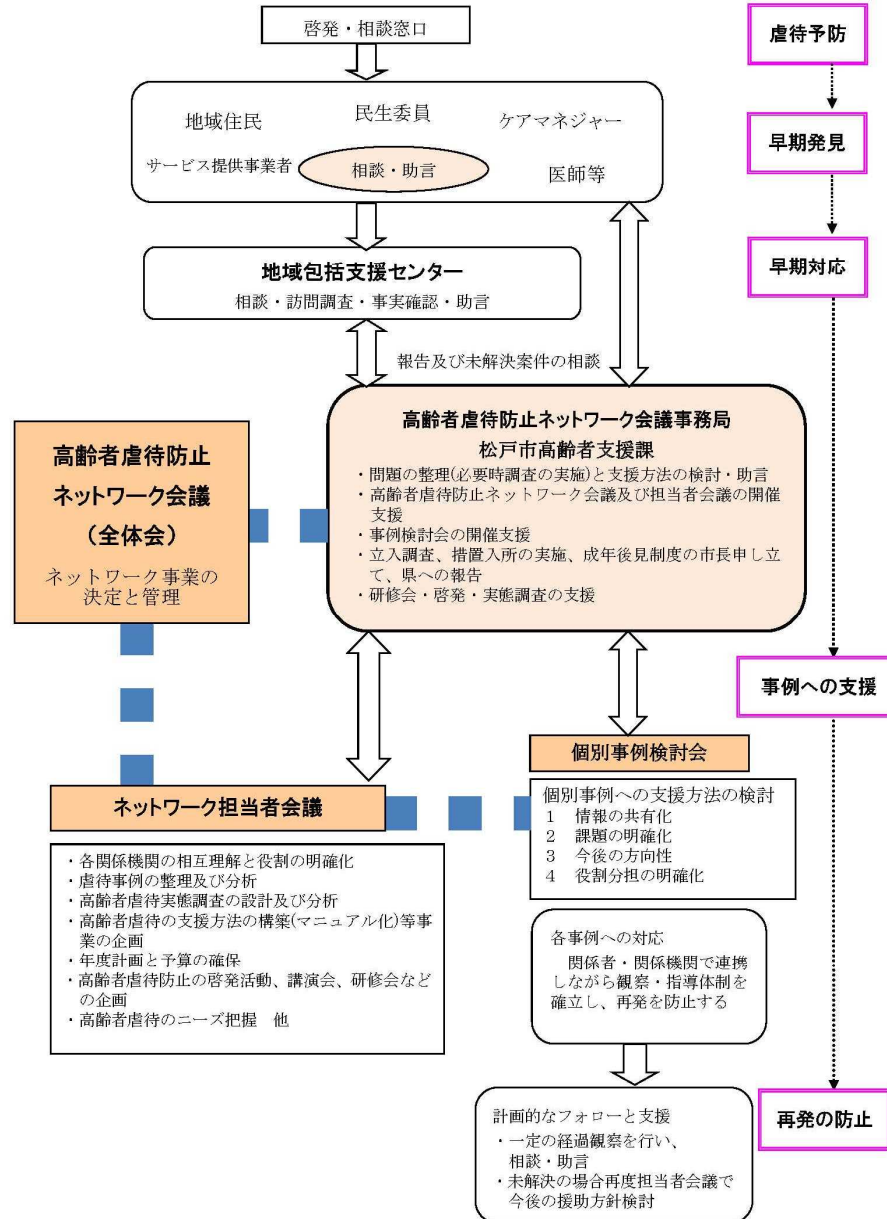
高齢者虐待に関する実態調査

虐待のアセスメント方法、支援方法の確立

市民・関係機関との協働による支援システムの構築

役割の明確化と連携方法の明確化

松戸市高齢者虐待防止ネットワーク事業全体像



高齢者虐待ネットワーク会議(全体会)

年2回開催

【内容】 事業の方向性の決定とネットワーク事業の管理

【委員】

- ・人権擁護関係者(法務局・人権擁護委員)
- ・司法関係者(千葉県弁護士会)
- ・学識経験者
- ・保健医療関係者
- ・警察関係者
- ・福祉関係者
- ・市関係課職員

計29名

高齢者虐待ネットワーク担当者会議

年6回開催

【内容】 個別事例の報告・検討等

【委員】

- ・全地域包括支援センター長
 - ・保健医療関係者（医師会・保健所・中核地域生活支援センター）
 - ・民生児童委員
 - ・市関係課職員
 - ・全体会委員2名
- 計26名

高齢者虐待ネットワーク 個別事例検討会

毎月3会場開催

【内容】 個別事例の報告・虐待事例の検討

【委員】

- ・全地域包括支援センター長
- ・民生児童委員
- ・全体会委員

ネットワーク事業の成果

- * 事例検討会で情報を共有し、緊急時の対応が迅速になる。
- * 事例を共有することで支援者自身が支えられている安心感を持つ。
- * 支援の方向性が明らかになった。
- * 多職種が関わることで多角的な事例検討が実現した。
- * チームによる支援で役割が明確になった。
- * 専門職向け・市民向けの啓発の実施で理解が深まった。
- * 相談件数が増加した。

松戸市において特徴的な取り組み

◆警察との連携

ネットワークの構築の中で、情報のスムーズなやり取りが実現。

110番通報で高齢者が関わる事案についての情報提供をしてもらっている。

訪問して状況把握。

虐待が無くても包括的継続的介入につながっている。

◆緊急ヘルプネットワーク事業

市内に居住する要介護高齢者や身元の判らない徘徊高齢者を一時的に保護し要介護高齢者の安全を確保することを目的とする。

特連協の協力を得ている。

- おおむね65歳以上
- 要介護状態にある者
- 原則一泊

松戸市の高齢者虐待の現状

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
通報受理件数	73	102	58	108	115
虐待あり・疑い	72	90	49	77	73
虐待あり・疑いと判断した割合	98.6%	88.2%	84.5%	71.3%	63.5%

◆平成26年度の相談者内訳

- * ケアマネジャー 34件(29.6%)
- * 警察 24件(20.9%)
- * 近隣住民 12件(10.4%)
- * 被虐待者 12件(10.4%)
- * 虐待者 1件(0.9%)

◆通報～事実確認までの期間

- * 24時間以内 79件(68.7%)
- * 1週間以内 29件(25.2%)
1週間以内のうち48時間以内 9件(7.8%)
- * その他 7件(6.1%)